

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2022年 2月 15日

21家庭アンケート配布 うち 18家庭回答
★たくさんのご協力ありがとうございました。

事業所名：児童発達支援事業所のびのびりいふ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・1フロアでスペースも限られているので必要なものを場面に応じて出し入れするなどの工夫をしております。	【はい】16【どちらともいえない】2【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・見学の際に確認しました。 ・スペースは広いとは言えませんが、晴れている日は公園に連れて行ってしっかり遊ばせてもらえます。 ・スペースはそれ程広くありませんが少人数なので適度な広さである。	・ご意見ありがとうございます。 ・スペースを広げることは限界がありますので、広さだけでなく縦の空間(高さ)なども活用しながら、子ども達がのびのびと過ごせるような環境構成に努めていきたいと思っています。
	2 職員の適切な配置	・午前中は戸外活動など安全面への配慮が特に必要となりますので、お子様2人に対して1人以上の職員を確保し、戸外活動の時は必ず手をつないで移動できるように職員配置を行っております。午後は室内での個別療育がメインとなりますので、お子様3人に1人以上の職員の配置となっております。 ・基本的には上記での配置を行っておりますが、今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、人員配置の確保が難しい日もありました。	【はい】15【どちらともいえない】2【いいえ】1 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・職員の数が少し足りないと感じました。 ・とても手厚く配置して下さっていると思います。 ・コロナ禍のため、日により人数不足の時もあるようですが、都度教えて下さり、スケジュールの変更もして下さっているので安心。	・ご意見ありがとうございます。 ・限られた人員の中ですが、全職員がお子様一人ひとりの心に寄り添えるよう関わりを今後もしっかりと行っていきたいと思っています。 ・また、午後も個別療育と並行しておもちゃを中心とした好きな遊びの時間になっておりますので、子ども同士の関わりの中を今以上にしっかりと行っていけるよう、もう少し職員の人員の確保をしていく事を目標としております。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作りたいと思っています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・玄関のドアはスライドドアとなっております。 ・トイレは幼児用の便器を設置し、お子様が自分でトイレに行くことができるようになる自立支援の手立てとしております。 ・手洗い洗面台も子ども用の高さに調整し、踏み台などを使わず自分で手洗いができるようになっており、落下等の事故防止にもなっております。 ・お子様一人ひとりに個人のマークを用意し、靴箱やロッカーなどにマークを貼り、自分の物を自分の場所に片づける習慣がつくように支援しております。 ・一日の流れを写真で提示するなどお子様が自分で見て理解できる視覚支援を環境構成の中に取り入れております。 ・自分の欲しいものを写真で見て要求が出せるよう写真カードを必要に応じて増やしていております。 ・トイレの前の着脱に使うベンチ(長椅子)はアンパンマンのキャラクターを使って、一人ひとりが間隔を空けて安心して座れるスペースを作れる	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・個別に使用するものには、個別のマークをつけるなど、子供にとって視覚的に分かりやすい工夫がされていると思います。 ・1日のスケジュールを絵で分かり易く張り出してあり、流れを理解して1日を過ごしている。	・ご意見ありがとうございます。 ・視覚支援に関しては今後も職員で勉強を重ね、より良いものを提供できるよう努めていきたいと思っています。 ・ご家族に事業所への活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作りたいと思っています。 ・「見て理解する」力が養われる環境構成、関わり工夫を今後も配慮した支援を心掛けたいと思っています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・フロア全体・事業所内部の掃除消毒、整理整頓はこまめに行っております。事業所前の外側の清掃も気をつけてこまめに行うようにしております。 ・加湿器、空気清浄機、次亜塩素酸生成機(ジアイーノ)などを設置し、室内全体の除菌を行い、感染症拡大の予防に努めております。 ・生活の場面を分けたり、遊びをコーナーに分けて空間を整理して落ち着いて過ごせるようになり、食事場面や絵の具遊びなどではマットを敷いて汚れを予防する工夫をしております。 ・今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの流行もあり、こまめな換気、アルコールや次亜塩素酸水での消毒を毎日、こまめに実施しました。 ・送迎車にも空間除菌の容器(クレベリンなど)を置くようにし、送迎中も安全面に留意しながら換気を行いました。	【はい】17【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】1 【ご意見】・その都度そうじされていると感じました。子ども達ものびのび過ごしていると感じました。 ・清潔できれいに整理整頓されています。子供も居心地が良いようで、よくお昼寝をしているようです。 ・お部屋の中に入った事がないので清潔かは分かりませんが、狭いスペースを上手く利用して様々な活動をしている。	・ご意見ありがとうございます。 ・お子様が清潔な環境の中で元気に過ごせるために必要なものは、今後もしっかりと取り入れていきたいと思っています。また、全職員が衛生面への知識をしっかりと身に付けていけるよう内部研修の実施や外部研修へも積極的に参加していきます。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作りたいと思っています。 ・新型コロナウイルスの感染防止対策をしっかりと行っていきたいと思っています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・PDCAサイクルを意識し、スタッフ間の話し合いを行うようにしております。		・業務改善を進めるためにPDCAサイクルを意識した管理者と現場職員の話し合いを引き続き積極的に行っていききたいと思います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・特に第三者による外部評価は行っておりません。		・第三者評価も今後は取り入れていけるよう地域の関係機関などとのつながりを作っていくことを目標としています。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・職員会議と職員研修をサービス提供時間終了後に月に1度ずつ(計月2回)実施しております。例年、外部研修もスタッフが順番でできるだけ参加しておりますが今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、研修に参加できる回数が減っている状況です。		・外部研修においては、現在、案内があったものだけに参加しておりますが、自分たちで探したり開拓していき、研修参加の回数を増やしていきたいと思っています。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・ご利用開始前に保護者の方と面接をさせていただき、お子様の様子や発達の状態、ニーズなどの聞き取りを行い、それを元にアセスメントを作成し、個別支援計画の作成へとつなげております。	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・具体的に幼稚園に行くまでにできることを増やしてあげたい意思是伝わっていると思いました。・面談で親からの希望を聞いてくださり、子供の育成過程も細かく分析し、それらを反映させて細かく計画を作成して下さいます。・子供の性格や発達の課題をよく理解して下さい、サービス計画にも満足している。	・ご意見ありがとうございます。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。 ・個別支援計画の見直しの際は、今年度よりモニタリングをスタッフ間で行い、その結果を書面で保護者の方にお知らせするよう一部流れの変更をしました。また、保護者の方からも書面で要望やねがいをお聞きする形式へと変更しています。その他、日々の集団活動、個別療育の記録もしっかりと行っております。必要があれば開示できますのでお問い合わせいただければと思います。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・アセスメントを元に集団療育の中で行う支援、個別療育の中で行う支援をそれぞれ考え、必要な目標を立てるようにしております。		・ご意見ありがとうございます。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。 ・個別支援計画の見直しの際は、今年度よりモニタリングをスタッフ間で行い、その結果を書面で保護者の方にお知らせするよう一部流れの変更をしました。また、保護者の方からも書面で要望やねがいをお聞きする形式へと変更しています。その他、日々の集団活動、個別療育の記録もしっかりと行っております。必要があれば開示できますのでお問い合わせいただければと思います。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・アセスメントを元に『発達支援』『家族支援』『地域連携』と項目を分け、できるだけ具体的な支援目標を立てております。	【はい】17【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】1 【ご意見】・子供が苦手なことをどこまで進めていくのがいいか、どこまで頑張るのがいいか、どうしたら興味を持てるかと子供に合わせて考えてくださっていると思います。・毎日、数分ですが課題をスケジュールに組み込んで下さっている。	・ご意見ありがとうございます。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。 ・個別支援計画の見直しの際は、今年度よりモニタリングをスタッフ間で行い、その結果を書面で保護者の方にお知らせするよう一部流れの変更をしました。また、保護者の方からも書面で要望やねがいをお聞きする形式へと変更しています。その他、日々の集団活動、個別療育の記録もしっかりと行っております。必要があれば開示できますのでお問い合わせいただければと思います。 ・毎日、午後から数分ずつではありますが一人一人に合わせた個別療育を行っております。その課題や取り入れる内容などできるだけ個別
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・ご家族に了承いただいた個別支援計画を全職員で周知し、連携を取りながら日々の療育を行っております。 ・個別療育の内容などは、半年に一度お渡しする『育成経過』でお知らせするようにしております。	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・苦手な課題も、できるだけ苦手意識を持たないように、少しずつゆっくりと根気強く進めてくださっています。	・ご意見ありがとうございます。 ・お子様の発達に寄り添える支援者となるよう、職員それぞれが知識と経験を深めていく事に努めていきたいと思っております。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思っております。 ・ご家族にお子様の様子をしっかりと伝えできるようスタッフで今後も発信の方法など協議してまいりたいと思っております。 ・個別療育の内容等は、半年に一度お渡しさせていただいている『育成経過』に今後、盛り込んでまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・管理者と現場スタッフで意見を出し合い、できるだけスタッフ全員参加で考える体制を整えながら活動プログラムを考えております。	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・毎月プログラムの内容の紙を頂いており、日によって色々遊びが取り入れられています。 ・毎回異なったテーマで体を動かしたり、工作をしたり、感覚の遊びをしたり、季節のイベントも取り入れてくださっているのでも子供も楽しそうです。 ・毎月、1カ月のプログラムのスケジュールを教えてくださいますが流動的です。	・ご回答ありがとうございます。 ・行事の係担当や月のプログラムの構成など役割分担をしながら全職員がプログラム構成に参加していく体制を整えています。引き続き、スタッフ間の連携体制を整えて向上してまいります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日の利用対象のお子様と土曜日の利用対象のお子様では、年齢層や他施設との併用の有無などの状況の違いがありますので、活動の流れの基本は同じスタイルですが、利用対象のお子様の集団(グループ)のタイプなどに合わせて細かな環境構成や提供するプログラムは変更しております。		・ご回答ありがとうございます。 ・今後もお子さま一人ひとりのねがいに寄り添えるようなプログラムの構成に努めてまいります。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子やスタッフの関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思っております。 ・土曜日グループでは、幼稚園や保育園などの大きな集団での活動、最終的には小学校就学を見据えた社会性のスキルを身につけていく支援内容をしっかりと考えて行っていきたいと思っております。
適切な支援の提供	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・スライムなどの感覚的な遊び、リトミックや楽器遊びなど音楽に親しむ遊び、感覚統合につながる運動遊び、公園や散歩など戸外活動の4つの遊びをメインに考え、毎日日替わりで集団療育を構成しております。 ・季節感を味わえるような行事や工作を毎月取り入れ、夏場は水遊び、季節の良い時期をメインとした園外保育(お子さまのみ参加)を行っております。		・ご回答ありがとうございます。 ・お子様の成長に彩りを添えていけるよう、季節感のあるプログラムやお子様の成長発達に応じたプログラム構成に今後も務めてまいります。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思っております。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・朝8時に朝礼を行っておりますが、スタッフ一人ひとり時差出勤や勤務日数の違いがありますので、伝達事項の補足はスタッフ間の連絡ノート(2種類(業務連絡用、子ども達の様子の伝達用))を用意し、そのノートで補っております。また、お子様の継続した検温が必要な場合などは室内にある連絡用ホワイトボードを利用し、いつでもすぐにスタッフの目に入るような環境を作っております。 ・個別支援計画のみをコピーし取り出しておくことでスタッフがいつでも支援計画を確認しながら療育に向かえるような環境づくりもしております。		・スタッフ全員が些細なことでも記録する習慣をつけることで職員間の連携の向上に努めてまいります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・スタッフ一人ひとり時差出勤や勤務日数の違いがありますので、伝達事項の補足はスタッフ間の連絡ノート(2種類(業務連絡用、子ども達の様子の伝達用))を用意し、そのノートで補っております。また、お子様の継続した検温が必要な場合などは室内にある連絡用ホワイトボードを利用し、いつでもすぐにスタッフの目に入るような環境を作っております。 ・個別支援計画のみをコピーし取り出しておくことでスタッフがいつでも支援計画を確認しながら療育に向かえるような環境づくりもしております。		・スタッフ全員が些細なことでも記録する習慣をつけることで職員間の連携の向上に努めてまいります。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・お子さま一人ひとりの日中の様子を個別で記録しております。 ・午後から行う個別療育の記録も日々行い、継続した個別支援ができるようにしております。 ・月2回実施の会議と研修の中で必要に応じてケース検討会議も行っております。		・今後も記録をしっかりと行いながら、必要に応じて記録する書類の種類や形態の改善を図っていきたく思っております。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・最長でも6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行っております。 ・通常、月2回の会議と研修の中でモニタリングを行います。今年度より保護者の方との面談の前にスタッフ間でモニタリングを行い、その結果を画面でお伝えしております。その際にお渡しさせていただいている『育成経過』にスタッフ全員からの意見が反映できるよう『育成経過前調査票』を作成しています。		・お子様一人ひとりに合わせた個別支援計画作成の為、今後もモニタリングはしっかりと行っていきたく思っております。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・例年、相談支援事業所をご利用の方を対象に、定期的に担当者会議へ管理者が出席し、各関係機関との連携を図っておりますが今年度は新型コロナウイルスの影響で会議ができない状態にあり、電話や画面での連携を行っております。		・今後も必要なケースや機会等がありましたら、積極的に参加していきたいと思っております。(相談事業所の利用家庭が増えると支援の輪がより広がるように感じる部分も実際に連携させていただく中であります。)
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	・画面で支援の内容やお子様の成長の様子を新しい進路先へお渡しさせていただいております。 ・ご家族のご了承のもとで、必要な場合は電話での連携も取らせていただいております。 ・今年度は複数の保育所、こども園の担当職員の方と訪問等での連携を図る事が出来ました。		・進路先へ画面だけでなく訪問や電話での連携を積極的に行っていきたいと思っております。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・児童発達支援のみの事業所ですので、現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・ご家族のご了承のもとで、療育センターをはじめ地域の専門機関との連携は図らせていただいております。 ・専門機関での研修も、ご案内頂けた研修に対しては可能な限り参加しておりますが今年度は新型コロナウイルスの影響で研修への参加が難しい状況にあります。		・今後も地域の専門機関など関係機関との連携は積極的に行っていきたいと思っております。 ・職員のスキルアップの為、研修への積極的な参加は今後も行っていきたく思っております。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現時点では、そのような交流活動は行っておりません。	【はい】3【どちらともいえない】4【いいえ】4【わからない】7【無回答】0 【ご意見】・早くコロナが終息してくれることを願います。	・ご意見ありがとうございます。 ・地域とのつながりを広めていき、今後、交流が持てるように考えていきたいと思っております。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・現時点では、そのような交流活動は行っておりません。	【はい】3【どちらともいえない】4【いいえ】4【わからない】7【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございます。 ・地域とのつながりを広めていき、今後、交流が持てるように考えていきたいと思っております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・まずはご利用前に、お子様とご家族と一緒に活動を体験していただき、その際に、のびのびりふの活動内容など簡単なご紹介をさせていただいております。 ・ご利用を希望されました方には、後日、面接をさせていただき、その際に持ち物や詳細などご利用案内をさせていただいております。 ・個別支援計画を作成した上でご契約の日を設け、その際に重要事項説明書をお見せしながら利用負担などについてのご説明をさせていただいております。 ・ご利用後に負担内容の変更など重要事項に変更があった場合は、その都度、個別で説明させていただき、その上で同意書を頂いております。	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・入会時、詳しく説明頂きました。 ・面談の際に細かく説明をしていただいています。何か変更があった際にもすぐに連絡を下さるので安心です。 ・分かり易く教えて下さりました。	・ご意見ありがとうございます。 ・皆様に安心してご利用していただくため、説明が不十分にならないよう丁寧な説明を心掛けていきたいと思っております。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・最長でも6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行っております。 ・ご家族にお越しいただく形となっておりますが、個別支援計画見直しの際は、お子様の成長の様子を記録した『育成経過』をその都度お渡しさせていただき、ご家族と振り返り・見直しをおこなう面談を行い、新しいニーズをお聞かせ頂いた上で新しい個別支援計画を作成し、再度、日を設けての面談で個別支援計画の説明とご了承をいただいております。	【はい】17【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・面談の際に計画を確認しながら一つ一つ細かく説明してもらっています。 ・分り易く教えて下さりました。	・ご回答ありがとうございます。 ・ご家族には、日々のお忙しい中、短期間での面談を2回も設定させていただき、ご迷惑をおかけしている部分もあるかと思えます。いつもありがとうございます。お子様のより良い支援の為、今後もご理解、ご協力をよろしくお願い致します。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレントトレーニングをご家族に行うには職員にも技術や知識の準備が必要となりますので、現段階では、こちらでは実施できておりません。 ・送迎や面談の際に、できる範囲で子育てのご相談はさせていただいております。	【はい】9【どちらともいえない】6【いいえ】1 【わからない】2【無回答】0 【ご意見】・子供の特性や行動をととてもよく見てくださっていて、親とは違った視点で助言をいただけるので、とてもありがたいです。	・ご意見ありがとうございます。 ・【のびのびりふの目的】にもある『ご家族のよりよい関係づくりのサポート』を行うためにも、今後スタッフのスキルアップを図り、ご家族への支援の拡充を行っていききたいと思っております。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・普段は、送迎の際に日中のお子様の様子などを送迎スタッフがお伝えさせていただいております。半年に一度の定期的な面談と必要に応じての臨時の面談を行い、そこで発達の状態や課題についてはお伝えさせていただいております。	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・連絡帳や送迎時にその日の状況を伝えてもらっています。 ・小さな傷にも気づいて、毎回確認してくださいます。送り迎えのときにその日の様子などを教えてもらっています。 ・日々の出来事やできなかったことができた等を日頃から教えて下さります。	・ご意見ありがとうございます。 ・もっとご家族と一緒にお子様の成長を共有し、一緒に子育てをしていくことができるよう、管理者からの電話フォローを増やし、ご家族の声をお聞きしていきたいと思っております。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・普段の送迎では、なかなかゆつくりとご家族とお話ができない状態です。たくさんお話ができていご家族とお話しできる機会が少ないご家族との差を実感している現状です。	【はい】17【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】1 【ご意見】・入会して一か月後位に見学・面談があり、育児に関する助言等頂きました。 ・定期的な面談と見学があります。子供がどのように過ごしているのかを知ることができるので、毎回楽しみです。 ・連絡帳に書かれてあることがすぐ分かりやすいです。 ・半年に1〜2回面談があり、普段見れない子供の事業所での様子も隠し窓から見れ安心します。相談にものって下さり、助かっています。	・ご意見ありがとうございます。 ・管理者からの電話フォローを増やし、そこからご家族とゆつくりお話しできる面談へつなげてご家族のご相談にもっと対応できるよう努めてまいりたいと思っております。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現時点では保護者会などの発足はしておりません。春の親子遠足にご参加いただけたご家族には、少しですがご家族同士の交流を持つきっかけづくりをするつもりでしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、機会が作れませんでした。 ・今年度は新型コロナウイルスの流行があり、予定していた親子参加行事を中止しました。	【はい】4【どちらともいえない】6【いいえ】4 【わからない】4【無回答】0 【ご意見】・コロナ禍のため中止されている。 ・コロナで中止(行事)があるので仕方ないと思います。	・ご意見ありがとうございます。 ・ご家族間の交流も子育ての中には必要なものであると考えております。今後、職員で話し合いながらご家族同士の交流の機会を設けられるよう検討していきたいと思っております。(クリスマス会やうんどう会は、ぜひ親子でイベントを楽しんでいただければと思います。)
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情対応についてのマニュアルは作成しております。	【はい】10【どちらともいえない】2【いいえ】0 【わからない】6【無回答】0 【ご意見】 ・苦情を言うような事は何もありませんが、先生同士の状況共有がとても早くしっかりとされていると思います。ささいなことでも、一人の先生にお伝えすれば必ずほかの先生とも共有して下さるので安心です。 ・子供が他の利用者によく叩かれていた時に距離を取ってくださったり、様子を見る等の対応をしていただきました。	・ご意見ありがとうございます。ご家族のニーズ、ねがいにできる限りの誠実な対応を目指していきたいと思っております。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・普段の事であれば、送迎や連絡帳、電話での対応をさせていただいております。 ・次の進路のことなど面談を中心として一緒に考えさせていただいております。 ・親子行事開催の後は、アンケートを配布させていただき、ご家族のご意見を聞く場を設けております。	【はい】17【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】・毎月連絡帳でどんな様子だったかを教えてもらえます。こちらが書いたことも必ず確認してくださいますし、送り迎えの際にもその日の様子を教えてもらえます。	・ご意見ありがとうございます。 ・地域の情報や進路の話、保護者向けの研修、勉強会のご案内をもっと積極的に発信していきたいようなネットワークづくりを工夫していきたいと思っております。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・行事の日程や詳細など必要に応じて随時で書面のご案内をしています。 ・月一回『のびのびさんだより』というおたよりを発行し、情報発信させていただいております。	【はい】16【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】・毎月ののびのびさんだよりをいただいています。先生の紹介、療育の教材、絵本の紹介などが載っていて、毎回楽しみにしています。 ・毎月行事予定が配られています。	・ご意見ありがとうございます。 ・『のびのびさんだより』を活用し、今後も様々な情報発信ができるよう努めてまいります。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・利用契約を行う際に、個人情報につきましては書面と口頭でお話しさせていただいております。たくさんのご家族が集まる親子行事の際は、必ずインターネットに関する注意をしっかりとさせていただきますいております。 ・見学の際は動画撮影の希望確認を取り、希望されるご家庭には他のお子様を写さないような配慮など細かな約束事を伝えさせていただいております。	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・お子様の大事な情報になりますので今後も細心の注意を払って対応していきたいと思っております。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・利用契約時に緊急対応時のお話と感染症対応のお話はご家族の方にさせていただいております。 ・防犯につきましてのご案内は、保護者の方にはさせていただいております。 ・全ての項目、職員にはマニュアルとして周知しております。	【はい】17【どちらともいえない】2【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・入所の際に説明がありますし、感染症の季節には改めてお知らせもされるのでその都度確認できます。	・ご回答ありがとうございました。 ・職員間での話し合いの上、必要なマニュアルは作成しております。保護者の方からのご要望があれば開示させていただきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・今年度より月一回、曜日を变えてお子様をお預かりしている時間帯に避難訓練をおこなうようになっております。(各曜日、年間2回ずつ) ・利用契約時に災害時の避難場所につきましてはご説明させていただいております。	【はい】16【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】2【無回答】0 【ご意見】・定期的に避難訓練をして下さっています。	・ご意見ありがとうございました。 ・災害時にご家族のご不安が少しでも軽減されるよう、定期的に避難場所の確認をご家族に対しても行っていくとともに、避難訓練の様子もお伝えしていきたいと思っております。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・毎月虐待防止チェックリストを職員に実施しております。 ・虐待防止研修を年一回、職員間で行っております。 ・外部実施の虐待対応研修も職員が順番に参加できるようにし、積極的に取り組んでおります。		・今後も虐待対応力を職員が身につけていけるよう、積極的に内部研修を行い、外部研修への参加もしていきたいと思っております。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・やむを得ず身体拘束をおこなう場合の対応を職員間で周知しておりますと同時に、方がその状態が起こった時の記録用紙も準備しております。 ・利用契約時にご家族の方へ説明させていただいております。 ・個別支援計画にも記載し、ご家族に説明をさせていただいております。		・今後は事業所の中で検討委員会を設立し、身体拘束について検討する機会を設けようと思っております。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用前の面接時でアレルギーに関しては丁寧に聞き取りをさせていただいております。 ・現時点では、アナフィラキシーショックなど重篤なアレルギー反応のお子様のケースがございませんので、そのような対応はしていません。		・対象のケースがあった場合は、しっかりと対応させていただきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット報告書の様式を改め、簡素化することによりスタッフが些細なことでも記録し、全スタッフが周知していく事で環境構成の改善やスタッフの対応力の向上へとつながる取り組みを行いました。		・簡素化することにより記録する数が大幅に増えました。些細な『ヒヤリ』『ハツ』に気づき、どのように対応するのか見通しを持つ力、それを全スタッフが周知し、支援への姿勢の改善となるよう努めてまいります。